

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	15029	授業形態	
担当教員	北村 裕美		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
備考			

ゼミ
北村裕美ゼミナール
学部
人間社会学部
学科
人間健康学科
演習名
健康づくり学

概要説明

当ゼミでは、健康を科学的に研究するとともに、健康の維持増進のために健康行動を実践することや健康リテラシーを高めることをミッションとしています。研究演習では、健康の維持増進のための身体活動(運動・スポーツ)を実践します。今年度は第74回全国レクリエーション大会inひょうこ(11月13-15日)に参加を予定しています。また、健康に関するデータをもとに日本が抱える健康問題について議論します。研究演習では、健康、身体活動などをキーワードに各自で健康情報(公表データ、新聞、雑誌、学術論文など)を集め、その中から選んだテーマについて抄読会を行います。卒業研究では、健康に関する諸問題を解決するために介入研究や調査研究を実施し、卒業論文としてまとめます。

学位
博士(Ph.D)

教員よりの要望

健康、運動、スポーツに関心があり、これらをテーマとした卒業研究を行いたい方と一緒に学びたいと考えています。何事にも誠実で素直に、前向きに、積極的に、協力的に取り組んでください。人生100年時代を健康に生き抜く力を身につけるために、仲間と一緒に突っ張り、悩んだりしながら、一緒に学びましょう。

教員英字氏名
Hiroki Kitamura
研究室
5405
最終学歴

川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究所健康体育学専攻

主な研究活動・社会活動・研究業績

健康行動や健康リテラシーに関する研究
メタボリックシンドロームに対する運動の予防効果に関する研究
子どもの体力・運動能力に関する研究

主な卒業論文のタイトル

- <2015年度>
 - ・子どもの頃の運動経験が現在の身体活動状況におよぼす影響
 - ・食事の摂り方の違いが満腹感におよぼす影響
 - ・体幹トレーニングがバランス感覚におよぼす影響
- <2016年度>
 - ・本学サッカー部における競技レベルと体力の関係
 - ・アルバイトが大学生生活と学習態度に及ぼす影響
 - ・大学生における筋肉トレーニング知識と現在の運動状況との関連
 - ・本学学生におけるスポーツドリンクの利用実態と嗜好に関する研究
 - ・スノースポーツ実施状況に関する研究
 - ・プロ野球の人気回復や野球離れを阻止する方策の提案
- <2018年度>
 - ・本学学生における健康飲料の利用とカフェイン認知度の現状
 - ・アライメント異常(0脚X脚)がスポーツ傷害に及ぼす影響
 - ・本学サッカー選手におけるケガとコンディショニング実施の関係
- <2019年度>
 - ・本学体育会クラブの競技環境および所属学生の満足度に関する研究

趣味・特技

テニス
食べくらべ

所属

人間社会学部

所属学会

日本体力医学会
日本肥満学会
日本健康教育学会
日本健康支援学会

専門分野

健康科学
体力医学
レクリエーション

選考方法

研究演習では、面談による選考を行います。書類提出前に必ず面談に来るようにしてください。面談可能時間はガイダンス資料に示します。

研究演習では、研究演習(北村裕美ゼミナール)の単位を取得した者を優先します。上記単位を取得していない者が履修を希望する場合は、面談による選考を行います。

卒業研究の履修は、原則研究演習(北村ゼミナール)の単位を取得した者に限ります。

担当科目

発育発達論、レクリエーション指導演習、レクリエーション実践演習、地域ボランティア演習A・B、エンターテインメント演習、研究演習、卒業研究、専門基礎演習、教養特講

備考

評価方法

取組状況や課題提出状況などを総合的に評価します。

実務経験の有無及び活用